

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

1 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: OPTIGEL-CL XR
用途	: レオロジー添加剤
供給者情報	
供給者の会社名称	: ビックケミー・ジャパン株式会社
住所	: 東京都新宿区市谷本村町3-29
電話番号	: 03-6457-5501
FAX番号	: 03-6457-5502
電子メールアドレス	: GHS.BYK@altana.com
緊急連絡電話番号	: East/South East Asia +65 3158 1074

2. 危険有害性の要約

GHS分類

発がん性	: 区分1A
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 区分2 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: 区分2 (腎臓, 呼吸器系)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 発がんのおそれ。
臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ
長期にわたる, 又は反復ばく露により臓器 (腎臓, 呼吸器系) の障害のおそれ

注意書き

: **安全対策:**
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト グ蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管:
施錠して保管すること。

廃棄:
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

2 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : 情報無し。
常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 変性 / 活性ベントナイト

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 [%]
ベントナイト	1302-78-9	>= 90 - <= 100
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 1 - < 10

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、医師に連絡する。
気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

3 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
 粉塵の発生を避ける。
 粉塵を吸い込まないよう留意。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
 蒸気/粉塵を吸い込まない。
 曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
 皮膚や眼への接触を避けること。
 個人保護については項目 8 を参照する。
 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
 使用中は禁煙。
 休憩前や終業時には手を洗う。
- 保管
- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
 ラベルの予防措置を遵守する。
 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
ベントナイト	1302-78-9	OEL-M (吸入性粉)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				
		OEL-M (総粉)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

4 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

				度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				
	TWA (トータルダスト)	30 mg/m ³ / %SiO ₂ +2	OSHA Z-3	
	TWA (呼吸性)	10 mg/m ³ / %SiO ₂ +2	OSHA Z-3	
	TWA (呼吸性)	250 mppcf / %SiO ₂ +5	OSHA Z-3	
	TWA (吸入性粉塵分画)	0.1 mg/m ³	OSHA P0	
	TWA (呼吸性画分)	0.025 mg/m ³	ACGIH	
	TWA (吸入性粉塵)	0.05 mg/m ³	NIOSH REL	

保護具

呼吸用保護具 : 粉塵およびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
総粉塵の濃度が10 mg/m³以上の場所では防塵マスクが推奨される。

手の保護具
備考 : 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 粉末

色 : オフホワイト

臭い : 無臭

pH : 9.0 - 11.0, 濃度又は濃度範囲: 20 grm/l (水溶液として)

融点・凝固点 : 非該当

沸点/沸点範囲 : 非該当

引火点 : 非該当

蒸発速度 : 非該当

爆発範囲の上限 : 非該当

爆発範囲の下限 : 非該当

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

5 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

蒸気圧	: 非該当
蒸気密度	: 非該当
比重 (密度)	: データなし
密度	: 2.6 g/cm ³ (20 ° C)
かさ密度	: 500 - 700 kg/m ³
溶解度	
水溶性	: 不溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度 (粘性率)	
粘度	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。
化学的安定性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。
危険有害反応可能性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。 粉塵は空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: データなし

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

急性経口毒性	:	備考: データなし
--------	---	-----------

成分:**ベントナイト:**

急性経口毒性	:	LD50 ラット: > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 420
--------	---	--

急性吸入毒性

	:	LC50 ラット: > 5.27 mg/l 方法: OECD 試験ガイドライン 436
--	---	--

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

6 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

製品:

備考: データなし

成分:

ベントナイト:

種: ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 404

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品:

備考: データなし

成分:

ベントナイト:

種: ウサギ

結果: 眼刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考: データなし

成分:

ベントナイト:

試験方法: Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)

暴露の主経路: 経皮

種: マウス

結果: 皮膚を過敏化させない。

方法: OECD 試験ガイドライン 429

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

7 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

反復投与毒性

製品:

備考: データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

詳細情報

製品:

備考: データなし

備考: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : 備考: データなし**成分:**

ペントナイト:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h藻類に対する毒性 : EC50 (Scenedesmus capricornutum (淡水産藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: データなし

データなし

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

8 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

製品:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質／混合物は0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有しておりません。

生態系に関する追加情報 : データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制****IATA-DGR**

危険物として規制されていない

IMDG-Code

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物資 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

9 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

関連法規**消防法**

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号
シリカ	312

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

OPTIGEL-CL XR

版番号 1.1

10 / 10

作成改訂日: 2015/01/09

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質には該当しない

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本SDSのデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。